

■ JSTT 第3回通常総会の開催

6月8日（水）15時より、ルポール麹町（東京都千代田区平河町）にて、一般社団法人日本非開削技術協会第3回通常総会を開催し、①平成22年度事業報告、収支決算、②定款の一部変更、③任期満了に伴う理事の選任、の3議案を審議、可決した。正会員の総会出席率は71%であった。

また総会終了後、国土交通省下水道部下水道事業課長岡久宏氏による「東日本大震災について」と題した、東日本大震災における下水道設備の被害概況に関する特別講演が行われた。聴講者は約120名であった。

■ 第29回 NO-DIG 非開削技術国際会議 （ベルリン）への参加

5月2日（月）～5日（木）の間、ドイツ・ベルリン市内のメッセベルリン会場にて開催された第29回 NO-DIG 非開削技術国際会議に、当協会（JSTT）副会長、事務局国際担当（ISTT 理事）及び事務局員が参加した。事務局国際担当は国際会議中に開催された国際非開削技術協会（ISTT）の理事会にも出席し、今後の非開削技術に関する国際的な課題の論議に参加した。なお、今回の国際会議への日本からの論文発表はここ数年間では最も少ない1件のみであり、近年の我が国非開削技術の国際進出、国際貢献への取り組みが再考させられる現実となった。

■ JSTT 各委員会活動

（1）技術委員会

4月22日（金）10時より、第72回技術委員会を開催し、平成23年度上期の「非開削技術講演会」の実施計画を審議した。その結果、開催日及び時間帯は、7月6日（水）13：00～17：00とすること、場所は例年のとおり発明会館（東京都港区虎ノ門）とすること、また講演テーマとしては、①未だ記憶に新しい東日本大震災における社会基盤設備の被害概況（速報）、②近年その必要性が強く認識され始めている推進機前方障害物の事前探査、の2テーマとすることとされた。JSTT ホームページに参加募集要項及び参加申し込みフォームを掲載している。

（2）機関誌（No-Dig Today）編集委員会、 編集企画小委員会

【編集委員会】

4月13日（水）16時より、第77回編集委員会を開催し、既発行の機関誌第76号の構成、編集内容等について論議した。

【編集企画小委員会】

4月13日（水）14時より第83回の、6月2日（木）13時より第84回の編集企画小委員会を開催した。それぞれの小委員会では、機関誌第76号の特集技術区分（大中口径管推進技術）の確認、特集記事の執筆依頼先の選定、執筆者への執筆方針の伝達方法等を論議、決定した。

（3）工法ナビゲーション運営委員会

5月17日（火）15時30分より、第36回工法ナビゲーション運営委員会を開催し、地下探査技術や地下設備の耐震化技術等の新たな技術ジャンルのナビゲーションへの追加の可能性について論議した。この結果、これらを掲載する方向で検討することとした。

（4）HDD（誘導式水平ドリル推進）工法委員会

5月18日（水）15時30分より、第46回HDD工法委員会を開催し、2011年度版として発行した新たな設計積算要領のPR方法について審議した。この結果、関東地域の主要都市においてHDD工法の技術講演会を企画して行くこととした。

（5）地下探査技術委員会

5月25日（水）15時30分より、第5回地下探査技術委員会を開催し、地下探査技術の利用者向け（発注者向け）に専門的な知識を有しなくても理解できる判り易い技術マニュアルの作成を目指して、具体的な掲載内容についての論議を行った。今後も、この方針の具体化について論議を進めて行く事とした。

（6）ソーシャルコスト検討委員会

4月6日（水）1時より第5回委員会を、5月30日（月）15時より第6回委員会を開催し、ソーシャルコスト算定マニュアル（案）の策定に向けて、目次（案）を基にマニュアルが取り上げるべきソーシャルコストの算定対象項目及び実工事（開削工事及び非開削工事）の分析結果を基にしたソーシャルコストの評価について論議した。今後は、実工事の調査データの分析精度の向上を目指す事とした。